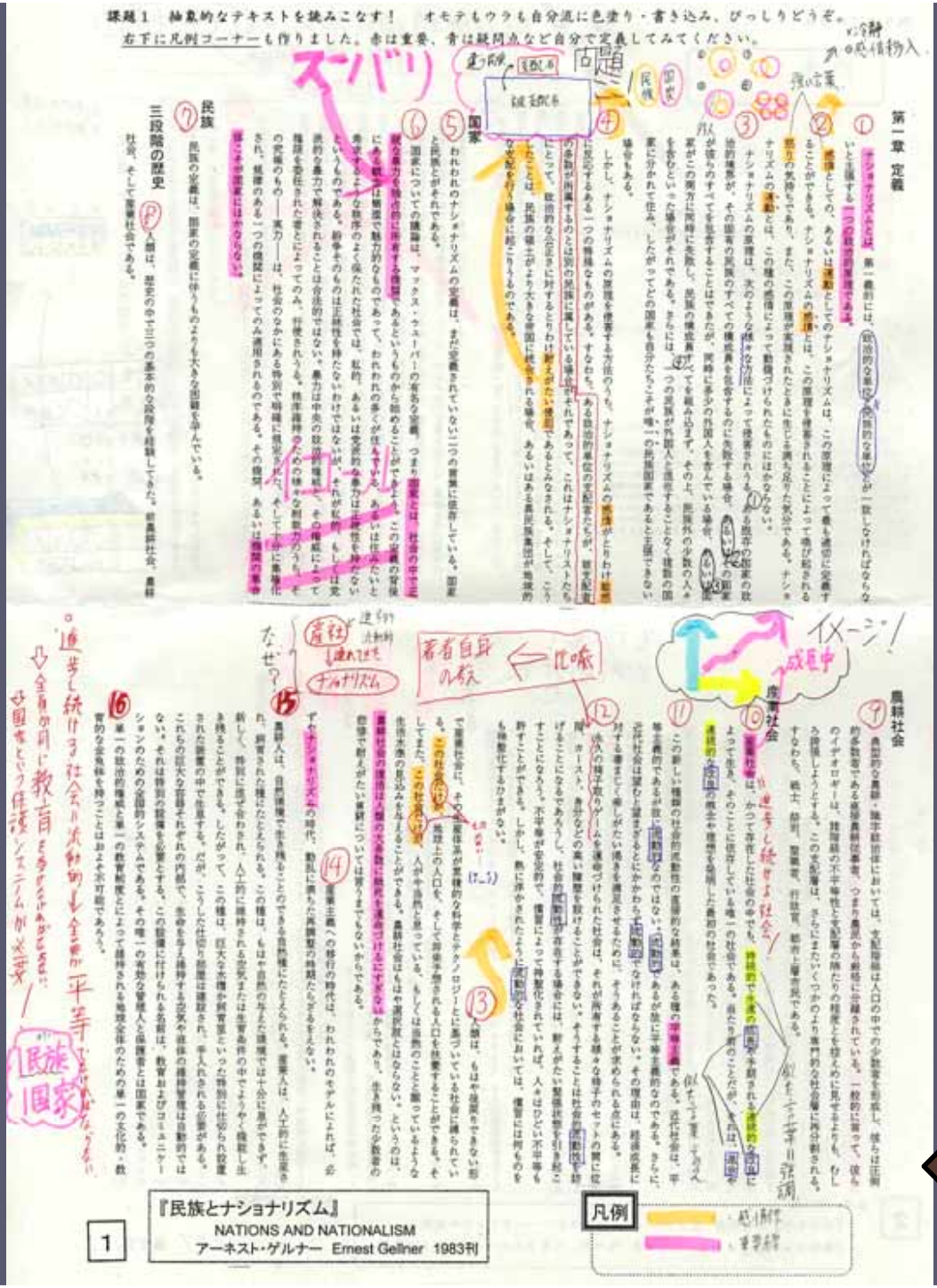
ナショナリズム

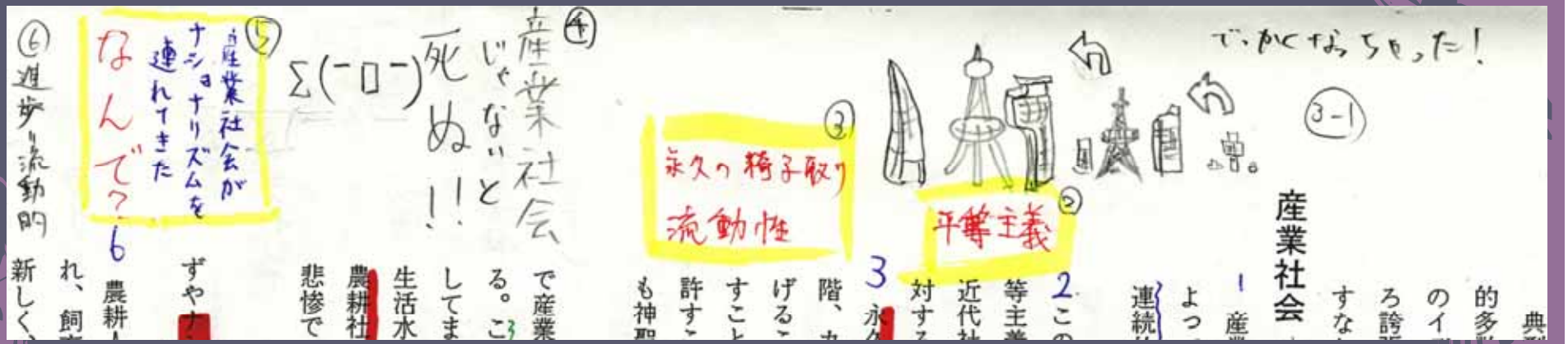
ユニークな読解力と発想力を披露した10名のグレイトなかたがた

いちばん
インパクト
ありました。

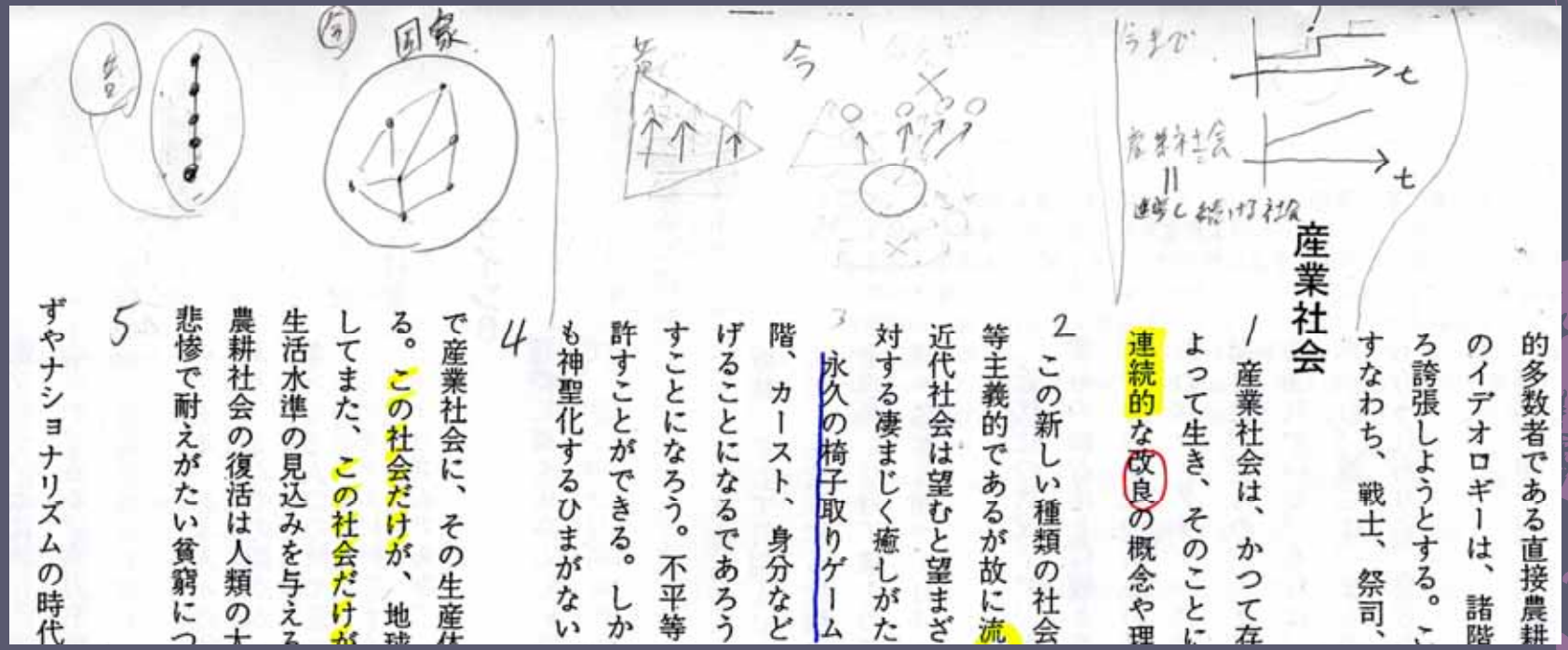
K.K.さん



妄想満開　T.H.さん



図的思考　A.G.さん

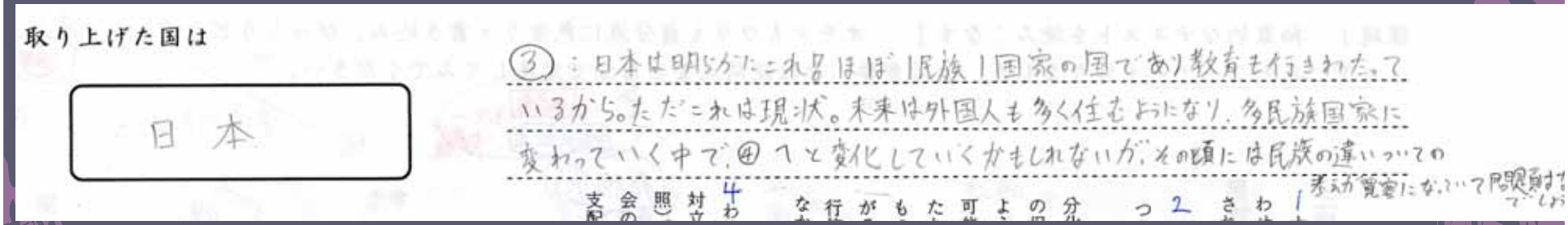


課題2　ナショナリズム判定
あの国のナショナリズムはこのタイプだ！

任意の国を取り上げ、それがどのタイプ（融合型を含む）に属するかをゲルナーの説に沿って判定し、かつその未来を推測してください。

取り上げるのは日本・アメリカなど実在の国でも、トルメキア・ジオンなど架空の国でもよい。

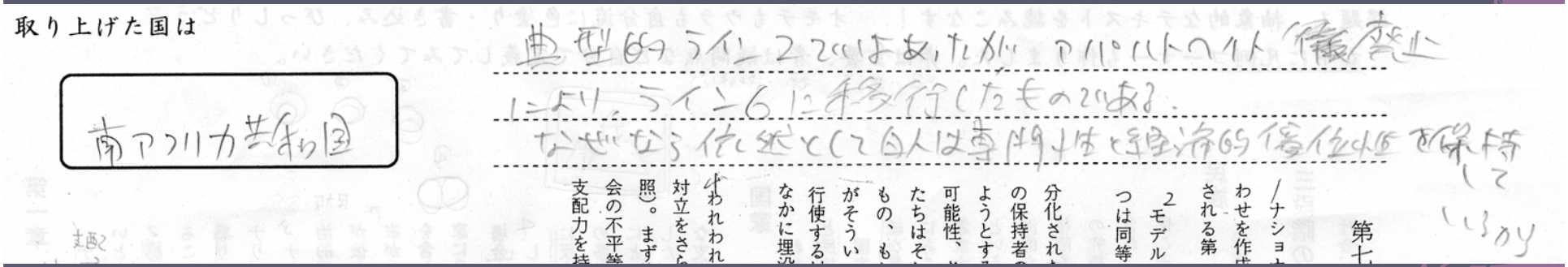
日本の変化　H.M.さん


取り上げた国は

日本

③：日本は明らかにほぼ1民族1国家の国であり教育も行きわたっているから。ただこれは現状。未来は外国人も多く住むようになり、多民族国家に変わっていく中で、④へと変化していく可能性もあるが、その頃には民族の違いについての

南アの変化　M.K.さん


取り上げた国は

南アフリカ共和国

典型的なライン2ではあったが、アパルトヘイト撤廃により、ライン6に移行したものである。なぜなら依然として白人は専門性と経済的優位性を保持しているが

土鬼はライン２　H.N.さん

取り上げた国は

土鬼帝国（ドルク）

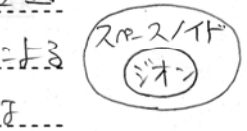
支配者である皇帝は土着の宗教と違うものをもちこんだので文化は別．また被支配者は十分な教育は受けられないので ライン２に相当する．ただし、武器などが被支配国にも浸透しているため、暴力の応酬が起きることも考えられる．

ジオンはライン１　N.T.さん

取り上げた国は

ジオン

スペースノイドという民族(?)のうちの一部によって構成されるジオン。右図のようなタイプと考えられる。ジオン・ダイクンのカリスマを利用したザビ家による独裁だが地球連邦政府という「敵」の存在によって、国としてのまとまりは強かった。しかしザビ家内の争いにより滅亡…。自分は連邦よりジオンの方が好きです。



ライン1

○	○	×	×
×	○	○	×

教育あり・なし

	P	~P	
	E	~E	
1	A	A	エスニックな触媒なしの初期産業主義
2	A	B	「ハプスブルク」(そしてその東と南との突端)のナショナリズム
	E	E	
3	A	A	成熟した同質的産業主義
4	A	B	古典的でリベラルな西欧のナショナリズム
	~E	E	
5	A	A	デカブリストの革命的な，しかしナショナリズムではない状況
6	A	B	ディアスポラ・ナショナリズム

ノナショナリズムの有効な類型論は、近代社会の形成

わせを作成してみるだけで作り上げることができる。

される第一の要素は[I]権力のそれである。

2 モデルに導入される次の要素は、[II]教育もしくは活

つは同等のものとして扱われる)に近づく機会である

3 分化された社会について言えば、ここでは四つの明確

の保持者のみがこの機会を持ち、彼らがその特権的[権

ようとする可能性、次いで、[権力]保持者とそれ以外の

可能性、さらに、[権力]保持者以外(あるいはその中の

たちはそれを持たない可能性(この状況は、一見して

もの、もしくは非現実なものではない)、最後に、時

がそういった機会に恵まれない、あるいは単純に言う

行使する対象との両方が無学者の集団で、カール・マ

なかに埋没している可能性、の四つがそれである。

4 われわれがすでに確立した四種の類型に、[文化的]統

対立をさらに重ねるならば、直ちに八つの状況があり

照)。まず注意すべきであるのは、ライン[I]、3、5、

会の不平等が一般的であろうとも、(仮説上)[II][文化的]な

支配力を持たない状況と呼応しているということであ

第七章　ナショナリズムの類型

猿の惑星はライン６　Ｓ．Ｋ．さん

取り上げた国は

猿の惑星

未来からきたアメリカ人達が、まだ近代化していない猿達により奴隷となってしまう。これはまさに、ライン6のケースである。映画では、アメリカ人達が他の人間達と力を合わせ、支配者層の猿達と闘争する

バカ殿もライン６！　Ｔ．Ｓ．さん

取り上げた国は

志村けんのバカ殿の治める国

あの番組でバカ殿が政治に関することをしている所を見たことない。しかしたまに家老がそろばんを持って年貢のことを悩んでいるシーンが出ることもある。よって典型的なライン6だと考えられる。

ポケモンは・・・　Ｓ．Ｋ．さん

取り上げた国は

ゲームボーイのポケモン（レッドバージョン ポケモン151匹）の国

国家 民族

陰陽五行 生き物 ポケモンとの絆 バトル

である。ポケモンと人間を内包した国家である。国家権力者にはポケモン教育力はなく、オーキド博士などの研究者（国家からの被支配者）がサトシなどに教育を行っている。この場合は、権力が不在なため、人間＞ポケモンなのか、ポケモン＞人間なのか、ポケモン＝人間なのか、民族の階級的位置づけのしようがおきる。